

中学生学力アップ教室・南部地区

北本市・ナイトスクール	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全ての中学3年生の希望者を対象とし、北本市文化センター及び東部公民館を会場に7月から2月の土曜日に実施した。 ●学習時間は2時間程度で、英語、数学の基礎的・基本的な内容を中心として学習支援を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●申込時に担当指導主事から保護者へ直接説明する機会を設け、学習内容や安全面に関する確認等を行った。 ●生徒が参加しやすい環境を整え、安全に通えるようにするため、開催場所を2か所設定し、開始時刻をこれまでの17時から15時30分に変更した。 ●基礎・基本の定着を図るため、県作成の「学力向上ワークシート」や入試対策の問題集を活用した。 ●個に応じた支援の充実のため、学習支援員を確保した。 ●感染対策として、参加生徒及び学習支援員には検温やマスク着用を徹底した。参加生徒の席の配置は1テーブル1人としソーシャルディスタンスの確保した。また、常時喚起や使用後の消毒作業を徹底した。 ●コーディネーター及び学習支援員が毎回打合せを実施し、学習内容の確認や参加生徒の学習状況等について情報共有を行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーター及び学習支援員が密に連携を図ることで、参加生徒に対して個に応じたきめ細かな学習支援を行うことができた。 ●参加生徒からの質問が増えたり、生徒同士で教え合ったりと学習意欲の高まりが見られた。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・計算力がついてきて、定期テストの点数があがった。 ・苦手なところを丁寧に教えてもらい、因数分解ができるようになった。勉強が楽しくなってきた。 ●コーディネーターと参加生徒の保護者とで学習や進路について情報共有ができ、その後の個別支援に役立てることができた。 ●教員OBや地域の方の協力を得たことで、学校と地域がより組織的に参加生徒の学力を上げる取組ができた。

北本市基本情報			
中学校数	4校	実施教室数	2教室
対象学校	4校	対象学年	3学年
開催日数	15日	参加人数(1日平均)	19人
活動場所	北本市文化センター 東部公民館	コーディネーター数	2人
ボランティア数	7人	ボランティアの属性	教員OB 地域住民



〔個別指導の様子①〕



〔個別指導の様子②〕

中学生学力アップ教室・西部地区

毛呂山町・中学生学力アップ教室（サマースクール）	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学1年生を対象に、夏休みの10日間、中学校の教室を活用し生徒の学びの場とした。 ● 科目は数学に設定し、学習計画を立て自主的に学習に取り組み、学習の習慣化と基礎学力の定着に努めた。 ● 各教室に大学生3名の学習サポーター等を配置し、学習のつまづきなど支援した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染症対策として、マスク着用、室内常時換気、検温や消毒の徹底など基本的な対策を行った。 ● 教室と教育委員会間の業務連絡にオンライン通信を活用し負担軽減を図った。 ● 参加者、学習サポーターに対し事後アンケートを実施し、内容の充実に活用する。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒は、落ち着いて学習に集中できていた。数学の習熟が進み、「苦手が克服できた」「勉強が楽しくなった」との意見も多く寄せられている。 ● 大学生サポーターとの関係も良好で、参加者の通いやすさに繋がっている。 ● 他科目を追加希望もあった。 <p>【成果指標】</p> <p>※参加者アンケートより Q：サマースクールは、あなたにとって役に立つものでしたか。（肯定的な回答：約83.8%（31人/34人））</p> <p>※スタッフアンケートより 学習サポーターは積極的に生徒たちに関わっていた。教職志望の大学生で、生徒との交流や教壇に立ち指導する中でやりがいを感じながらコミュニケーション能力や指導力の向上を図ることができた。</p>

毛呂山町基本情報			
中学校数	2校	実施教室数	2教室
対象学校	2校	対象学年	1学年
開催日数	10日	参加人数 (1日平均)	37人
活動場所	各中学校 普通供養室	コーディネーター数	2人
ボランティア数	6人	ボランティアの属性	大学生 (教職志望)



大学生ボランティアが学習をサポート
(毛呂山中学校教室)



習熟度別にグループ編成。
感染症対策でも有効
(川角中学校教室)

中学生学力アップ教室・西部地区

越生町・学力アップ教室	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主に定期テスト前や、夏季休業日に開催している。 ●教室は、学年ごとに、基礎学力定着コースと活用力向上コースに分け指導を行った。 ●基礎学力定着コースでは、漢字や英単語の書き取り、計算問題等を繰り返し行った。活用力向上コースで、「コバトン問題集」や高校入試問題を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●教室では、「コバトンタイム」を活用し、学年別や教科別で本校の県学調の分析を行い、苦手分野を洗い出した。そして、教科別に問題プリントを作成して生徒に解かせた。 ●教室に入ることのできない生徒へは、リモートで教室に参加できるようにし、学習支援員等もついて学習の指導を行った。 ●感染症対策として、参加生徒及び学習支援員には、毎朝の検温とマスクの着用を徹底した。また、教室入室前に、手指消毒及びサーマルカメラによる検温を実施した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト前に補充学習を行うことで、途切れがちな学習習慣がつながり、基礎学力の定着に役立っている。 ●テスト前の家庭学習のクラスの平均時間が、テストを行うごとアップしている。 ●県学調の伸びが平均して、2年生は1.5ポイント、3年生は2.6ポイント上昇した。 ●リモートで参加する生徒にも学習支援員が指導しており、教室に入れない生徒の学習の保障をすることができている。 ●参加生徒の感想として以下のようなものが挙げられた。「先生からもらったアドバイスによって解き方のコツがつかめた」「わからない問題を一緒になって考えてもらったので少しできるようになった気がする」

越生町基本情報			
中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
開催日数	17日	参加人数 (1日平均)	54人
活動場所	中学校教室	コーディネーター数	1人
ボランティア数	0人	ボランティアの属性	なし



〔学力アップ教室〕



〔リモートによる参加〕

中学生学力アップ教室・北部地区

熊谷市・くまなびスクール

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●教員OBや教員免許状所有者、学生等の有償ボランティアによる、生徒一人一人に対するきめ細かな指導をとおして、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図った。 ●市内全ての中学生に参加を呼びかけ、参加を希望した生徒を対象に、市内の中学校（16校）を会場に年間30回以内で週1回程度（1回2時間）実施した。 ●学習形態は国語、数学、英語を中心とした自学自習形式で、一部講義形式も取り入れた。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症対策として、入室前の手指消毒、開始前の健康観察、マスクの着用、換気、ソーシャルディスタンスの確保を徹底した。 ●会場は各中学校とし、実施日については各中学校が設定した。このことにより、学校の実情に応じた運営ができた。 ●市内の全生徒に配付してある「熊谷市学力向上テキスト」（熊谷市教育委員会作成）を教材として活用した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●経済的な理由等の限定をかけずに、市内全ての中学生に参加を呼びかけたため、学習の機会を保障し、個に応じたきめ細かな指導を行うことができ、市内の中学生全体の学力の底上げにつながった。県学力・学習状況調査の結果も良好であり、特に、参加生徒が多い学校の結果が良好である。 ●全国学力・学習状況調査で正答率の低い問題を抽出（国語4問、数学5問）し、1月に検証問題テストを実施した。2年生の国語では、平均正答率が51.8%から95.4%に、数学では66.8%から96.0%に上昇した。くまなびスクールにより、学力が高まっている。 ●生徒からは、「先生方が親切で、一緒に考えてくれるのでやる気が出る。」「先生が親身になって教えてくれるので、最後まで頑張ることができる。」と感想があった。

熊谷市基本情報

中学校数	16校	実施教室数	16教室
対象学校	16校	対象学年	1～3学年
開催日数	24日	参加人数 (1日平均)	390人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	16人
ボランティア数	53人	ボランティアの属性	教員OB 教員免許状所有者 大学生



〔活動風景〕



〔学力向上テキスト〕

中学生学力アップ教室・北部地区

深谷市・ステップアップレッシン

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●学習に対して不安を持っている生徒や、更に自分の力を伸ばしていきたいと思っている生徒を対象に、国語・数学・英語・理科・社会について補習学習を実施した。特に、数学に重点を置き基礎的・基本的なプリントを中心としながら実施した。 ●週に2回、学校の実態に応じ曜日や時間を設定して実施した。また、月に2回を基本として土曜日及び夏休み、冬休み等の長期休業中も実施した。 ●学校によっては、対象学年や学習内容を工夫して複数のステップアップレッシンを準備し、実施した。 ●3年生は高校入試も見据えて実施した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●実施計画や学習内容は担当教員、学校総合支援員と連携して計画した。 ●一人一人の課題に応じた指導を心掛け学習支援や指導に努めた。 ●間違えたところや分からないところをそのままにしないで理解して帰らせるよう学習を進めた。 ●授業の進度に合わせ忘れかけたころの復習を重点的に行った。 ●毎回学習プリントを用意し、その問題を解き、解答をもとに自己採点させ、誤り等を確認し指導者に質問したり相互に教えあい理解を深めるようにした。 ●3年生は、冊子にした問題集や各自が用意した教材・課題をもとに自主学習をすすめた。2学期後半から公立高校入試で数学の大問1を確実に解けるよう指導した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●ステップアップレッシンを通じて、一人一人の基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上が成果として現れた。 ●参加している生徒は、学習に対して積極的に取り組めた。 ●繰り返し学習が成果を上げている。 ●令和2年度の事業のまとめにおける生徒アンケートより「ステップアップレッシンに参加したことについて」、「とても良かった」「良かった」と答えた生徒の割合は、91.4%と、充実感を得ている。(令和3年度は令和4年3月にまとめをする予定)

深谷市基本情報

中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	1～3学年
開催日数	90日	参加人数 (1日平均)	180人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	10人
ボランティア数	10人	ボランティアの属性	教員OB 大学生



〔自己採点をしている生徒〕



〔理解を深めている様子〕

中学生学カアップ教室・北部地区

長瀬町・チャレンジ土曜セミナー

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●町内中学3年生を対象に11月から2月までの土曜日に10回、各回2時間程度学習支援を実施している。 ●実施場所は、中学校近くの中央公民館とした。 ●学習する内容は、基礎的な内容を中心としたテキストを使用し、高校入試を目指した基礎問題（数学・英語）を学んだ。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●開催場所は、生徒が自力で通室できる環境を実現した。 ●全体指導で基礎的な内容の確認を行い、指導者2名が机間指導を行うことで、個別に質問できる時間を設けた。 ●指導者は、入退室時や休憩中に生徒と簡単な英語でのコミュニケーションをとるなど、学習時間以外においても積極的に交流を図った。 ●指導者は、高校入試に向けての心構えや反復学習の重要性を指導し、学習への意識改善を図った。 ●感染症対策のため、自宅での検温や常時マスクの着用を徹底した。席の間隔を確保するとともに換気を徹底した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●学習に苦手意識のある生徒を対象としていたが、回数が進むにつれ、生徒が挙手をし積極的に質問をする場面が増え、学習意欲の向上がみられた。 ●全体指導で自己の課題を把握し、個別指導で解決に向けた支援を行うことで、一人ひとりの習熟度に合わせた指導ができた。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「基礎的なところが多かったので、単純な計算などについて今までより自信がついた」「少人数だったので、分からない問題をすぐに教えてもらえてよかった」「分からなかった問題が分かるようになった」 ●アンケートから、受講生徒の約90%が入試対策の「効果があった」と実感している。

長瀬町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
開催日数	10日	参加人数 (1日平均)	12人
活動場所	中央公民館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	0人	ボランティアの属性	塾講師



〔全体指導の様子〕



〔個別指導の様子〕

中学生学力アップ教室・北部地区

小鹿野町・中学生未来塾

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中学1年生から3年生を対象とし、第2、第4土曜日の午前中に、民間の塾講師や教員OBにより、英語、国語、数学の学習講座を実施している。 ●少人数制によるきめ細やかな学習指導を行っている。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●英語、国語、数学それぞれ①基礎・基本コース②応用・発展コースの各教科2コース、計6コースで実施。生徒の個々の学習進度に合わせて、少人数できめ細やかな指導を行っている。（習熟度別指導） ●民間の塾講師や教員OBに協力をいただき、地域と一体となった教育活動の支援を行っている。 ●地元、小鹿野高校に協力をいただき、数学への興味・関心を一層高めるために、高校の先生による2回の数学特別講座を実施している。 ●遠距離の生徒も参加できるように、開催日にはスクールバスを運行し送迎している。 ●新型コロナウイルス感染症対策のため、検温、マスクの着用、手指及び机等のアルコール消毒、換気の徹底を図っている。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の個々の学習進度に合わせて、少人数できめ細やかな指導を行い、基礎的な学力や学習意欲を高めている。 ●参加生徒のアンケート調査では、「参加してよかった96%」「学習内容はわかりやすかった95%」と高い水準の結果が得られた。また、前年度アンケートとの比較では、「苦手教科が少しずつ克服できた」が43%から56%へ、「家庭学習（自主学習）に役立った」が30%から42%へそれぞれ向上した。 ●中学生未来塾の良い点として、以下のようなものがある。「学校の復習ができる」「わからないところをていねいに教えてもらえる」「学校以外の先生に教えてもらえる」「学級とは違う仲間と勉強できる」 ●保護者対象のアンケートでは、参加させてよかったと感じている保護者の割合が98%であった。 ●受講生の約80%の生徒が英語検定、約25%の生徒が漢字検定を受験し、検定挑戦への意欲の高まりが見られる。 ●この事業をとおして、生徒の学習習慣の確立に向けて地域全体で支援するきっかけづくりになっている。

小鹿野町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	6教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
開催日数	15日	参加人数 (1日平均)	75人
活動場所	小鹿野 文化センター	コーディネーター数	1人
ボランティア数	11人	ボランティアの属性	塾講師、教員OB



〔1年生数学教室の様子〕



〔2年生国語教室の様子〕

中学生学カアップ教室・北部地区

神川町・学カアップ教室	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●町内中学3年生を対象に9月～2月で週2回学習支援を実施している。 ●場所は町内1か所設置し、実施した。 ●学習する内容は、生徒が自ら持参する自習型。今年度は町から貸与されている一人1台タブレットを持参してタブレットの中の学習ワークなどに取り組む生徒もいた。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●開催場所は町の中心地に設置することで生徒が通いやすい環境を実現した。 ●事前に参加者の保護者のメールアドレスを教育委員会へ登録し、緊急時の連絡について整備を行った。 ●学習支援員（教員OB）との連絡調整を密に図り、一人一人の状況や成果、課題を共有した。 ●感染対策として、参加生徒には事前の検温や常時マスクの着用を徹底した。席の配置もソーシャルディスタンスを保てるよう広い部屋を設定した。 ●町から貸与しているタブレットの持ち込みを許可し、学習中、分からないことがあるときにすぐに自分で調べて解決することができた。また、タブレットに収録されている既存の問題集を活用することで、生徒に負担をかけることなく、多くの種類の問題に取り組むことが出来た。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加生徒の保護者から、「子どもが前よりも机に向かう時間が増えた」「無料で勉強を教えてもらえるのでありがたい」というお電話をいただいた。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがある。「先生からもらったアドバイスによって解き方のコツがつかめた」「わからない問題を教えてもらったので苦手な教科も楽しくなってきた」 ●2学期末テストの国語・数学・英語の正答率が1学期末テストの正答率よりも10ポイント以上伸びた生徒が全体の約20%いた。

神川町基本情報			
中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
開催日数	30日	参加人数 (1日平均)	10人
活動場所	就業改善センター	コーディネーター数	1人
ボランティア数	7人	ボランティアの属性	教員OB 大学生



〔集中して学習〕



〔教育長による指導〕

中学生学力アップ教室・北部地区

上里町・中学生学力アップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●町内中学校3年生を対象とし、7月から2月にかけて、週2回（テスト前には週3回）、放課後の2時間程度、上里町中央公民館で5教科を中心とした学習支援を実施。 ●町内には中学校が2校あることから、中学校ごとに分かれて行っている。 ●学習する教科・内容に関しては、生徒が5教科の中からその日に行うものを自身で決め、教材を持参する。学校の宿題及び学校での学習に関する予習や復習を行い、分からないところについては、学習支援員に質問する。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●開催場所を、町の中央に位置する中央公民館にして、生徒が通いやすくした。 ●事前に参加する生徒の保護者のメールアドレスを登録し、緊急時等の連絡として活用した。 ●毎回教室を開催する前に学習支援員打合せ会を実施し、生徒の様子や指導方法の確認等を行った。 ●「自力で家庭学習に取り組める力を育てる」をベースとして、各自で取り組みながら、分からないところを自分から聞ける態度を養う中で、学習の仕方を学ばせ、「これが分かった」と実感できるような支援を行った。 ●教科の時間割は設けず、5教科のうち、各自が勉強したい教科を持参させて、個に対応した支援を行った。 ●感染対策のため、座席を一つずつ空けて座ったり、支援員は生徒と対面にならないように横に座って支援したりした。また、机やいすは使用後に消毒を行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度で「上里町中学生学力アップ教室」7年目となり、生徒・保護者の事業への認知度と有効性の認識が高まった。 ●上里町で取り組んでいる「学び合い学習」を基本に、学力アップ教室でも分からないところは互いに聴き合い、主体的に学習を進める力がついている。 ●保護者アンケートから、学力アップ教室に参加した生徒の80%が学習への意欲が高まったと答えている。また、75%の生徒が家庭学習の取組に良い変化が見られたと答えていることから、事業の効果が見られる。

上里町 基本情報

中学校数	2校	実施教室数	2教室
対象学校	2校	対象学年	3学年
開催日数	62日	参加人数 (1日平均)	35人
活動場所	上里町 中央公民館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	16人	ボランティアの属性	教員OB 大学生



〔学習の様子〕
生徒の質問に対して学習支援員が丁寧に解説している。



〔机・いすの消毒〕
机やいすを使った後は、協力して消毒を行っている。

中学生学カアップ教室・北部地区

寄居町 より・E土曜塾

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● (株) トライグループに業務を委託して、「より・E土曜塾」を実施した。 ● 4月に「春塾」、6月から「進路対策講座」を30回実施した。 ● 中学校3年生を対象とし、土曜日または日曜日に週1回、国語、数学、英語各50分ずつの授業を行った。 ● 習熟度別の少人数グループ(2~6人)に講師1人を配置し、きめ細かい個別指導を行った。 ● 生徒・保護者対象の受験対策セミナーや個人面談を行い、受験対策への助言や相談を行った。 ● 「英検対策講座」として、中学校2・3年生を対象に1回50分の英検対策の授業を5回ずつ計10回実施した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校入試対策として「進路対策講座」、公費英検受験にあわせ、「中学3年生英検対策講座」、「中学2年生英検対策講座」の3回に分けて生徒を募集したことで、より多くの生徒が参加できるようにした。 ● 家庭でもWebサイトを活用し学習できるようにした。 ● 受験対策セミナーや個人面談を通して入試の助言をした。 ● 「英検対策講座」を「より・E土曜塾」と同日開催し、英検に多くの生徒が受講できるようにした。 ● 緊急事態宣言時はオンライン授業を提供し、生徒の学びを継続した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染防止対策として、講師のフェイスシールド着用、消毒、体温チェック、密にならないよう午前午後受講者を分散し、受講者への感染防止策のもと学力の向上を図った。 ● 習熟度別の少人数グループにより実態にあった授業が展開されているので、「わかった。できるようになった。」という声が生徒たちから多く聞かれた。 ● 6月、10月、1月に3回テストを実施した。3教科偏差が2.55ポイント上昇した。 ● 英検対策講座に多くの生徒が参加し、英検の受験者数が増え、町の目指す英検3級以上への合格者が増加した。

寄居町 基本情報

中学校数	3校	実施教室数	1教室
対象学校	3校	対象学年	3学年 2学年
開催日数	40日	参加人数 (1日平均)	70人
活動場所	寄居町役場	コーディネーター数	2人
ボランティア数	12人	ボランティアの属性	塾講師



〔進路対策講座〕



〔英検対策講座〕

中学生学力アップ教室・東部地区

久喜市・「くき本樹塾」

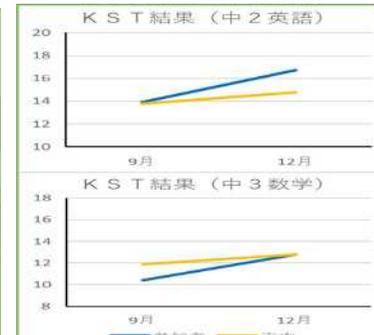
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の全中学校を対象とし、5月中旬から2月にかけて、週1回、2時間程度を目安に、各中学校の教室で国語・社会・数学・理科・英語の問題集やコーディネーターの自作ワークシート、タブレット端末を活用し、個別の学習支援を実施した。 ●自主学習を主な活動にしているが、生徒の様子によって、コーディネーターの判断で一斉指導等も適宜実施した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校に専属のコーディネーターと指導員を配置したことで、支援員と生徒、学校と支援員、支援員同士の信頼関係が構築された。これにより支援員が生徒一人一人の実態に合った学習支援を行えるとともに、学校と情報共有が積極的に図られ、中間・期末テストの範囲を把握した上で効果的な支援に当たることができた。 ●実施する曜日や時間を学校ごとに固定したことで定期的な開催となり、生徒の学習習慣の定着が図られた。 ●一部の学校では、くき本樹塾に教員が参加し、学習支援員をサポートする取組を実施した。この取組を通じて、生徒への支援が充実するとともに、教員にとっては本樹塾の活動状況や生徒の様子を把握することができ、日頃の授業での指導等につなげることができた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加生徒の意識調査から、本事業に参加したことで、学習内容を理解することができたと回答した生徒の割合が約98%（12月現在）と高い水準であった。 ●埼玉県学力・学習状況調査と同様の性質をもつ、久喜市独自の学力調査「久喜市ステップアップテスト（KST）」の結果において、本事業参加生徒は市内平均と比較して、中1は1.4レベル、中2は0.9レベル、中3は1.3レベル学力の伸びが大きかった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・「分からなかった問題も、教わったやり方で考えてみると、スラスラ解けたのでうれしかったです。」 ・「久々に勉強できたという気持ちになった。」 ・「テストの間違いを直して、理解できた。」

久喜市基本情報

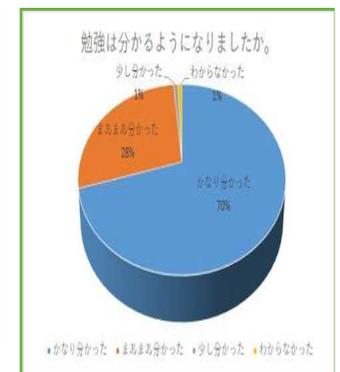
中学校数	11校	実施教室数	11教室
対象学校	11校	対象学年	1～3学年
開催日数	30日	参加人数 (1日平均)	20人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	9人
ボランティア数	46人	ボランティアの属性	元教員 教員免許保有者 大学生



〔学習の様子〕
学習支援員によるきめ細やかな個別指導により、学習意欲や学力の向上につながっている。



〔学力の伸び〕
久喜市独自のテストにおいて各教科で伸びが見られ、苦手分野も改善に向かっている。



〔生徒意識調査〕
約98%の生徒が「分かるようになった」と回答している。